

平成30年5月18日

Press Release

富山市
福祉保健部 保健所保健予防課
結核・感染症係
電話 428-1152 (直通)

腸管出血性大腸菌（^O111）感染症患者の発生について

このことについて、次のとおりお知らせします。

記

1 患者の発生状況

- (1) 患者 市内在住の男児（10歳未満）
- (2) 海外渡航歴 あり
- (3) 経緯 5月 6日（日）帰国
8日（火）腹痛・軟便出現。
14日（月）医療機関を受診し、検便を実施した。
- (4) 診断 5月17日（木）腸管出血性大腸菌O111（VT1）感染症と診断された。
- (5) 症状 内服治療中であり、快方に向かっている。

2 患者及び感染源調査

- (1) 患者の喫食状況調査及び行動調査を実施
- (2) 患者の健康状況調査を実施

3 対応

- (1) 患者及び接触者に対し衛生教育を実施
- (2) 患者自宅等の消毒を指示

4 腸管出血性大腸菌感染症の発生状況【参考】

別紙のとおり

予防対策について

- 食べ物は十分加熱しましょう
特に食肉については、生食を避け、中心部まで十分加熱するようにしましょう
- 手洗いと消毒を徹底しましょう（調理の際、食事の際、トイレの後など）
- 下痢等の症状がある場合は、速やかに医師の診察を受けましょう

(別紙)

【参考】

腸管出血性大腸菌感染症の発生状況（患者数）

	平成 30 年	平成 29 年 同時期延べ数	平成 29 年 総数
	県内 (うち市内)	県内 (うち市内)	県内 (うち市内)
○157	0 (0)	0 (0)	15 (9)
○26	0 (0)	3 (1)	11 (1)
○111	1 (本事例を含む) (1) (本事例を含む)	0 (0)	0 (0)
○91	0 (0)	0 (0)	3 (0)
○146	0 (0)	0 (0)	1 (1)
○222	0 (0)	0 (0)	2 (0)
腸管出血性 大腸菌感染症 計	1 (1)	3 (1)	32 (11)